

第1回小田原市自転車駐車場指定候補者選定委員会 会議録

- 1 日時 令和6年(2024年)7月8日(月)
午前10時15分から午前11時15分まで
- 2 場所 小田原市役所3階 議会全員協議会室
- 3 出席者 【委員】府川委員長、山本委員、永峰委員、諸星委員、佐藤委員
※欠席 尾崎委員
【事務局】藤平地域安全課長、齋藤副課長、山浦主査、池内主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 委嘱
 (1) 委嘱状交付
 (2) 市長挨拶
 (3) 委員紹介
- 6 委員長の選任及び職務代理者の指名
 委員会規則第4条第1項の規定に基づき、府川委員を委員長に選任
 同条第3号の規定に基づき、府川委員長が佐藤委員を職務代理者に指名
- 7 議事
 (1) 本委員会の所掌事務について(資料1)
 事務局から資料1に基づき説明
 【質疑】なし

 (2) 国府津駅自転車駐車場について(資料2)
 事務局から資料2に基づき説明
 【質疑】
 委員 会議室について、駅が近く利便性がよいと思うが、どのような利用がされているのか。
 事務局 自治会やボランティア会等の地域団体、市民活動団体、民間企業、近隣のマンション管理組合等が利用している。

 委員 原動機付自転車は125cc以下という認識でよいか。

事務局 そのとおりである。

委員 大型バイク等の駐車は想定していないということか。

事務局 そのとおりである。道路運送車両法に規定する原動機付自転車として 125cc 以下が対象となっている。

委員 自転車ラックの設置者はどこか。

事務局 市である。

委員 現指定管理者が設置した機器等はないという認識でよいか。

事務局 そのとおりである。

委員 自転車駐車場は 24 時間利用可能か。コストがかかりそうだが。

事務局 24 時間利用可能である。現行の運用では、人員の配置時間が決まっており、24 時間運用に係るコストは設備等の稼働費用である。

委員 会議室の利用について、市の公共施設予約システムを導入しないのか。

事務局 同システムの導入については、施設開設時に検討したが、国府津駅自転車駐車場 会議室だけではなく、他施設の予約を受ける体制が必要となり、指定管理者がそれに対応する人員体制を確保することが難しいため、現在は同システムを導入していない。

委員 システムを導入することができれば、利用者の拡大につながると思う。

事務局 開設時、導入を見送ったが、システム導入は予約の利便性が上がると理解している。人員体制については、事業者の提案内容であるため、付帯施設である会議室をどの様に運用するか提案を待ちたい。

(3) 国府津駅自転車駐車場指定管理者募集要項（案）等について（資料 3-1、3-2）

事務局から資料 3-1、3-2 に基づき説明

【質疑】

委員 現指定管理者の納付金の納付率はどうなっているか。

事務局 施設の稼働率が、50%未満の場合は 0%、50%以上 60%未満の場合は 6%、60%以上 65%未満の場合は、9%、65%以上 70%未満の場合は 16%、70%以上 75%未満の場合は 21%、75%以上 80%未満の場合は 25%、80%以上 85%未満の場合は、29%、85%以上 90%未満の場合は 32%、90%以上の場合は 34%となっている。

る。

稼働開始以降、常に 90%の稼働率を超えているため 34%の納付となっている。

委員 別紙6の審査基準について、項番5「地域貢献・社会貢献の取組は十分か」を、
選定要件(1)、(2)の「60%以上であること」の対象としない理由は何か。
事務局 自転車駐車場の適正管理に関することに重点的に配点をしているためである。

委員 一点目として、インボイス発行業者を要件とするのか。会議室の利用は法人利用
があると思うので、インボイス発行の対応に問題があると思われる。

二点目として、納付率について、新規事業者が納付率の算定をすることはできる
のか。新規事業者は現在の納付率を知らないと思うが、透明性の確保という観点
で、もう少し工夫できないか。

他自治体の状況を調べてみると、各自治体の裁量においてルールを決めている。
必ずしも収入ベースではなく、他の基準をベースにしているところもある。

いずれにしろ、行政と事業者が対等に話し合えることが必要であり、分かりやす
く応募しやすい表現としてもよいのではないか。

事務局 一点目については、市が機器を更新し、現在もインボイスを事業者が発行してい
る。指定管理者となる場合は、インボイス発行事業者となる必要がある。

二点目について、まず、指定管理者制度において、多くの場合は収益を得ること
が難しく、市直営より管理コストを軽減し、サービスを向上することが主である
ため、事業者から収入を得る施設は少ないと思われる。

その中で、自転車駐車場については、インシヤルコストを市が負担しており、ラ
ンニングコストだけで言うと、黒字となる施設であるため、事業者が事業計画、
収支計画を立て、市への納付金の納付率を設定してもらい、提案してもらうこと
としている。

当然、市への納付率の高さのみで、評価するわけではなく、審査基準のとおり、
人員体制等の管理に関するバランスを見てもらい、評価していただきたいと考
えている。

委員 納付率が高いからといって、行政サービスの質が落ちてしまっはよくない。

事務局 市としても、まず高いサービス基準があつて、どの程度市の収益となるのか、そ
の点を考慮して選考いただきたいと考えている。

(4) その他

事務局から第2回指定候補者選定委員会の日程について10月18日(金)に非公開
で開催したい旨伝え、了承された。